

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 28 年 2 月 17 日 午後用

## 第 67 回 獣 医 師 国 家 試 験

### 実 地 試 験 問 題 (D)

#### 注 意 事 項

1. 問題数は、60 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、  
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの  
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特  
に注意すること。



課題1 次の文を読み、問1、問2に答えよ。

〔図1 - A, B〕は、1999年から2013年までの間に発生した4種類の細菌性食中毒（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）の発生件数（A）および患者数（B）の推移をそれぞれ示している。

別冊 D 図 1 - A, B
--------------------

問1 Ⅲの食中毒はどれか。

1. ブドウ球菌食中毒
2. 大腸菌食中毒
3. カンピロバクター食中毒
4. 腸炎ビブリオ食中毒
5. サルモネラ食中毒

問2 Ⅳの食中毒に関する記述として適切なのはどれか。

1. 病原体は芽胞として自然界に広く分布している。
2. 潜伏期は6時間程度と短い。
3. ギラン・バレー症候群との関連性が指摘されている。
4. 主として米や小麦等の穀類や豆類が原因食品となる。
5. エンテロトキシンによる典型的な食品内毒素型食中毒である。

**課題 2 次の文を読み、問 3、問 4 に答えよ。**

犬、ヨークシャー・テリア、避妊雌、5歳齢。元気と食欲の低下を主訴に来院。身体検査で体表リンパ節の軽度腫大（下顎、浅頸、膝窩リンパ節がともに長径5～8 mm程度）が認められ、血液検査では赤血球数  $2.50 \times 10^6 / \mu\text{l}$ 、白血球数  $94.6 \times 10^4 / \mu\text{l}$ 、血小板数  $18.3 \times 10^4 / \mu\text{l}$ 、ヘマトクリット値 27%、ALT 208 U/l、ALP 385 U/l、BUN 21 mg/dl、Cre 1.8 mg/dl であった。〔図 2〕は血液塗抹像（ギムザ染色）であり、これらの有核細胞のほぼ全てがペルオキシダーゼ染色と非特異的エステラーゼ染色陰性であった。

別冊 D

図 2

**問 3 最も疑われる疾患はどれか。**

1. 慢性リンパ球性白血病
2. 慢性骨髄性白血病
3. 急性リンパ芽球性白血病
4. 急性骨髄性白血病
5. 組織球性肉腫

**問 4 抗がん剤の投与 2 日後に全身状態が悪化し、高カリウム血症と高リン血症が認められた。その原因として最も疑われるものはどれか。**

1. 副腎皮質機能低下症
2. 溶血
3. 急性腎不全
4. 虚血再灌流障害
5. 腫瘍崩壊症候群

**課題 3** 次の文を読み、問 5、問 6 に答えよ。

犬、雑種、雄、8 歳齢、体重 9 kg。2 日前から右後肢を跛行しているとのことで来院。右膝関節に腫脹と疼痛が認められた。〔図 3 - A〕は患肢の単純 X 線側方像、〔図 3 - B〕は右膝関節内を外科的に探査したときの肉眼像である。

別冊 D  
図 3 - A, B

**問 5** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 前十字靭帯断裂
2. 後十字靭帯断裂
3. 側副靭帯断裂
4. 膝蓋骨内方脱臼
5. 膝蓋骨外方脱臼

**問 6** 本疾患に付随して二次的な損傷が生じやすい組織はどれか。

- a 総指伸筋腱
- b 外側側副靭帯
- c 膝蓋靭帯
- d 内側半月板
- e 関節軟骨

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題4 次の文を読み、問7、問8に答えよ。

〔図4-A〕は犬の頸部に発生した腫瘍の病理組織像（HE染色）、〔図4-B〕は同組織のカルシトニンに対する免疫染色像である。

別冊D 図4-A, B
----------------

問7 診断はどれか。

1. 甲状腺癌
2. 上皮小体癌
3. 胸腺腫
4. 甲状腺髄様癌
5. 食道癌

問8 本腫瘍の病変部に沈着する可能性がある物質はどれか。

1. カルシウム
2. コレステロール
3. 脂肪
4. メラニン
5. アミロイド

課題 5 次の文を読み、問 9、問 10 に答えよ。

犬、パグ、避妊雌、10 歳齢。3 週間前より次第に元気と食欲が低下し、今朝から虚脱状態になったとのことで来院。身体検査では体温 38.6℃、心拍数 205 回／min、呼吸数 65 回／min であった。〔図 5 - A〕は心エコー図左心室流出路像（LV：左心室、AO：大動脈起始部、F：心嚢水、W：左心室壁、MASS：腫瘤）である。〔図 5 - B〕は腫瘤の細針吸引塗抹像（ギムザ染色）である。

別冊 D  
図 5 - A, B

問 9 本症例に最初に行うべき処置として最も適当なのはどれか。

1. 利尿薬の投与
2. 抗生剤の投与
3.  $\beta$  遮断薬の投与
4. 心嚢水の抜去
5. 胸水の抜去

問 10 最も疑われる疾患はどれか。

1. 血管肉腫
2. 化学受容体細胞の腫瘍（大動脈小体腫瘍）
3. リンパ腫
4. 組織球性肉腫
5. 胸腺腫

課題 6 次の文を読み、問 11、問 12 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、4 歳齢、分娩後 10 日目。朝の搾乳時には特に異常を認めなかったが、昼頃突然起立困難〔図 6 - A〕となったので隔離房に移した。体温 37.6℃、心拍数 100 回 / min、呼吸数 45 回 / min、第一胃運動はほとんど聴取できず下痢便を排泄していた。乳房は〔図 6 - B〕の外観を呈し乳汁は水様性であった。血液検査では赤血球数  $6.50 \times 10^6 / \mu\text{l}$ 、白血球数 1,200 /  $\mu\text{l}$ 、血小板数  $3.0 \times 10^4 / \mu\text{l}$  であった。

別冊 D  
図 6 - A, B

問11 本疾患の原因病原体として最も疑われるのはどれか。

- a *Fusobacterium necrophorum*
- b *Candida krusei*
- c *Trueperella pyogenes* (*Arcanobacterium pyogenes*)
- d *Escherichia coli*
- e *Staphylococcus aureus*

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

問12 治療計画を立てる際に考慮すべき点として適切でないのはどれか。

- 1. 致死率が高い。
- 2. エンドトキシンショックと敗血症を伴っていることが多い。
- 3. 進行が早いことが多い。
- 4. 病原体が特定されてから治療を開始する。
- 5. 治療後の泌乳量は顕著に低下することが多い。



課題7 次の文を読み、問13、問14に答えよ。

猫、雑種、雄、7歳齢。1週間近く排便をしておらず、元気が低下し、食欲が廃絶しているとの主訴で来院。〔図7〕は症例の腹部単純X線側方像である。

別冊D

図7

問13 原因解明のために評価すべき項目として重要でないのはどれか。

1. 骨盤腔の広さ
2. 肛門周囲および直腸疾患
3. 慢性腎臓病および糖尿病
4. 神経疾患
5. 消化管内異物

問14 本症例では特発性と判断し、外科的処置を行うこととした。適切な手術法はどれか。

1. 胃切開術
2. 結腸固定術
3. 結腸亜全摘術
4. 小腸切開術
5. 直腸ひきぬき（プルスルー）術

課題 8 次の文を読み、問 15、問 16 に答えよ。

〔図 8〕は搾乳の際に行う作業である。

別冊 D 図 8
-------------

問15 この操作はどれか。

1. 前搾り
2. ティートカップの装着
3. マシンストリップング
4. ポストディッピング
5. ストリップカップの装着

問16 乳房炎に関する記述として正しいのはどれか。

1. 乳房炎による損失の多くは潜在性乳房炎によって生じる減乳に起因する。
2. 前搾りの際はティートカップで異常乳の有無を確認する。
3. 環境性乳房炎は搾乳過程において他の乳頭や分房に伝播する。
4. CMT で細菌数を計測する。
5. 乳房炎起因菌により乳汁中の細胞は死滅し細胞数が減少する。

課題9 次の文を読み、問17、問18に答えよ。

犬、雑種、去勢雄、4歳齢。1か月ほど前からの皮膚の痒みと発熱を主訴に来院。〔図9-A〕は症例の外貌、〔図9-B〕は皮膚病変の肉眼像、〔図9-C〕は病変部パンチ生検の病理組織像（HE染色）である。

別冊D  
図9-A, B, C

問17 本症例の確定診断に最も適切な検査はどれか。

1. 免疫組織化学検査
2. 抗核抗体検査
3. クームス試験
4. リウマチ因子の測定
5. 血清抗原特異的IgE検査

問18 本症例に対する治療薬として適当でないのはどれか。

1. プレドニゾロン
2. シクロスポリン
3. アザチオプリン
4. アムホテリシンB
5. ニコチン酸アミドとテトラサイクリン

課題10 次の文を読み、問 19、問 20 に答えよ。

1985年に我が国のある地方において、〔図10 - A, B〕のような牛の異常産が大流行した。

別冊 D 図 10 - A, B
---------------------

問19 本感染症として最も適切なのはどれか。

1. アカバネ病
2. 牛ウイルス性下痢ウイルス感染症（牛ウイルス性下痢・粘膜病）
3. イバラキ病
4. 気腫疽
5. ブルータング

問20 本感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 届出伝染病に指定されている。
2. ヌカカによって媒介される。
3. 子牛に脳脊髄炎を起こす株がある。
4. フラビウイルス科のウイルスが原因である。
5. ワクチンが市販されている。

課題11 次の文を読み、問 21、問 22 に答えよ。

犬、トイ・プードル、去勢雄、10 歳齢。前日からの頻回の嘔吐と食欲不振を主訴に来院。血液検査では、ALT 1,548 U/ℓ、ALP 4,289 U/ℓ、総ビリルビン 5.3 mg/dℓであった。〔図 11〕は上腹部の超音波検査画像である。

別冊 D

図 11

問21 最も疑われる疾患はどれか。

1. 胆石症
2. 胆嚢粘液嚢腫
3. 胃内異物
4. 肝膿瘍
5. 肝臓腫瘍

問22 本症例に対して外科的処置を行う際の術式として最も適切なのはどれか。

1. 胆嚢切開術
2. 胆嚢摘出術
3. 胃切開術
4. 肝葉切除術
5. 胆嚢十二指腸吻合術

課題12 次の文を読み、問 23、問 24 に答えよ。

遊泳が不活発になったコイに〔図 12〕の丸で囲まれた器官を特徴とする寄生虫が大量に観察された。

別冊 D 図 12
--------------

問23 最も疑われる疾患はどれか。

1. ヘテロボツリウム症
2. ビバギナ症
3. ダクチロギルス症
4. ベネデニア症
5. ロンギコラム症

問24 本疾患に関する記述として適切なのはどれか。

1. 体表に大型異型細胞が形成される。
2. 腎臓に白色結節が形成される。
3. 第4脳室内にシストが形成される。
4. 鰓蓋裏面に膿瘍が形成される。
5. 鰓弁の棍棒化がみられる。

**課題13** 次の文を読み、問 25、問 26 に答えよ。

イノシシの肉を食べた猟犬が死亡した。死亡した猟犬から〔図 13〕に示すウイルスが分離された。

別冊 D

図 13

**問25** このウイルスが属するウイルス科はどれか。

1. ヘルペスウイルス科
2. パルボウイルス科
3. ラブドウイルス科
4. アデノウイルス科
5. レオウイルス科

**問26** この感染症に関する記述として正しいのはどれか。

1. ベクターが介在する。
2. 牛にも感染する。
3. 腹式呼吸が特徴的である。
4. 発熱後に心内膜炎が起こる。
5. 家畜伝染病（法定伝染病）である。

課題14 次の文を読み、問 27、問 28 に答えよ。

正常発情周期を回帰する牛の人工授精の翌日に左卵巢における排卵を確認した。7 日後に再診したところ、〔図 14〕の超音波画像を得た。

別冊 D

図 14

問27 最も疑われるのはどれか。

1. 卵胞嚢腫
2. 顆粒膜細胞腫
3. 嚢腫様黄体
4. 黄体嚢腫
5. 黄体遺残

問28 本症例に関する記述として適当なのはどれか。

- a hCG あるいは GnRH の連続投与による治療を行うべきである。
- b 血中エストロゲン濃度は通常より高い。
- c 血中プロゲステロン濃度は正常または低い。
- d 妊娠の可能性がある。
- e 内容液の除去は禁忌である。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e



課題15 次の文を読み、問 29、問 30 に答えよ。

〔図 15〕は牛の第一胃内 pH と発酵産物である乳酸、酢酸、酪酸、プロピオン酸との関係を示したものである。

別冊 D

図 15

問29 発酵産物 A および B の組合せとして正しいのはどれか。

- |    | A      | B      |
|----|--------|--------|
| 1. | 乳酸     | 酪酸     |
| 2. | 酢酸     | 乳酸     |
| 3. | プロピオン酸 | 乳酸     |
| 4. | 酪酸     | 酢酸     |
| 5. | 酢酸     | プロピオン酸 |

問30 A および B に関する記述として適当なのはどれか。

1. 第一胃鼓脹症において A が第一胃を膨満させる。
2. 急性第一胃アシドーシスでは急性期に A が特異的に上昇する。
3. 亜急性第一胃アシドーシスでは A および B の変動は少ない。
4. 第一胃錯角化症では B が低下する。
5. 創傷性第二胃炎ではごく初期に B が上昇する。

課題16 次の文を読み、問 31、問 32 に答えよ。

犬、雑種、雄、9歳齢。2週間前からの尿量と飲水量の増加を主訴に来院。〔図 16 - A〕は血液検査結果、〔図 16 - B〕は右側甲状腺部の超音波画像である。本症例のインタクトPTH濃度は111.1 pg/ml（基準値 1.24 ~ 1.56 pg/ml）、PTH関連タンパク（PTHrP）濃度は1 pmol/l 未満（基準値 1.5 pmol/l 未満）であった。

別冊 D

図 16 - A, B

問31 最も疑われる疾患はどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. 慢性腎臓病
3. 上皮小体機能亢進症
4. ビタミン D 過剰症
5. 上皮小体機能低下症

問32 本症例に対する治療法として適当でないのはどれか。

1. 生理食塩水による輸液
2. コルチコステロイドの投与
3. フロセミドの投与
4. ビンクリスチンの投与
5. 病変部の外科的切除

**課題17** 次の文を読み、問 33、問 34 に答えよ。

犬、フラットコーテッド・レトリバー、雄、7歳齢。1か月前からの右前肢跛行を主訴に来院。〔図 17 - A, B〕はそれぞれ右前肢の X 線頭尾側像および側方像、〔図 17 - C〕は病変部のコア生検スタンプ標本像（ギムザ染色）である。

別冊 D 図 17 - A, B, C
------------------------

**問33** 最も疑われる疾患はどれか。

1. 汎骨炎
2. 骨髄炎
3. 肥大型骨異栄養症
4. 組織球性肉腫
5. 骨肉腫

**問34** 〔図 17 - C〕の細胞診の診断精度を高めるための染色法として最も有用性が高いのはどれか。

1. ミエロペルオキシダーゼ染色
2. ズダンブラック B 染色
3. PAS 染色
4. トルイジンブルー染色
5. アルカリフォスファターゼ染色

課題18 次の文を読み、問 35、問 36 に答えよ。

〔図 18〕は我が国の「地下水の水質汚濁に係る環境基準」の超過率（概況調査）の推移を示している。

別冊 D

図 18

問35 基準改正のため平成 5 年以降に上昇した A はどれか。

1. トリクロロエチレン
2. フッ素
3. 鉛
4. テトラクロロエチレン
5. ヒ素

問36 平成 11 年から測定が始まった B の主たる超過原因として適当なのはどれか。

1. 自然災害や山林放置による水質悪化
2. 施肥や家畜排泄物の混入
3. 工場や事業所からの排水による水質悪化
4. 飲食店からの排水の増加
5. 家庭からの廃水の増加

**課題19** 次の文を読み、問 37、問 38 に答えよ。

犬、バーニーズ・マウンテンドッグ、雌、8 か月齢。1 か月程前から両前肢に跛行が認められるようになったとのことで来院。〔図 19 - A 〕は左前肢、〔図 19 - B 〕は右前肢の単純 X 線像である。

別冊 D  
図 19 - A, B

**問37** 跛行の原因として最も疑われる疾患はどれか。

1. 肩甲上腕関節の亜脱臼
2. 変形性関節症
3. 二頭筋腱炎
4. 離断性骨軟骨炎（症）
5. 骨腫瘍

**問38** 本症例に対する治療法として適切なのはどれか。

1. 断脚と抗がん剤治療
2. 二頭筋腱切断術
3. 関節固定術
4. 関節病変部の搔爬
5. 二頭筋腱転移術

課題20 次の文を読み、問 39、問 40 に答えよ。

肥育豚舎内の多くの豚の耳介や目の周辺の皮膚が赤く腫れ、後肢で搔いたり豚舎の壁などに擦りつけたりしていた。痂皮を掻き取り鏡検したところ〔図 20〕のダニ虫体が観察された。

別冊 D

図 20

問39 原因となるダニに関する記述として正しいのはどれか。

- a 宿主特異性が存在する。
- b 不完全変態である。
- c 雄は雌より大きい。
- d 一時寄生性である。
- e 雌雄共に皮膚の角質層を穿孔する。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

問40 本疾患に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 幼豚は痒みのストレスから死に至る場合もある。
- 2. 感染豚の隔離と飼育設備の消毒が必要である。
- 3. 治療にはイベルメクチンが有効である。
- 4. 全世界的に発生がみられる。
- 5. 届出伝染病である。

課題21 次の文を読み、問 41、問 42 に答えよ。

〔図 21〕は 2014 年時点で我が国において飼料原料となる動物とそれぞれの動物の飼料への使用についての飼料規制を示している。

別冊 D

図 21

問41 飼料として使用可能は○、使用不可能は×として、**1**、**2**、**3**、**4**に当てはまる正しい組合せはどれか。

- |    | <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> |
|----|----------|----------|----------|----------|
| 1. | ×        | ×        | ×        | ×        |
| 2. | ×        | ×        | ×        | ○        |
| 3. | ×        | ×        | ○        | ○        |
| 4. | ×        | ○        | ○        | ○        |
| 5. | ○        | ○        | ○        | ○        |

問42 この規制はある感染症が我が国で発生したために策定されたものである。その感染症には「特定家畜伝染病防疫指針」が定められているが、2014年12月時点で同様に定められている他の感染症はどれか。

1. ヨーネ病
2. ニューカッスル病
3. 炭疽
4. ブルセラ病
5. 低病原性鳥インフルエンザ

課題22 次の文を読み、問 43、問 44 に答えよ。

猫、雑種、雄、10 歳齢。急性の呼吸困難を主訴に来院。〔図 22 - A, B〕は、胸部単純 X 線像（A：側方像、B：背腹像）である。心電図検査では軽度の頻脈が見られた。〔図 22 - C〕は心エコー図像（右側傍胸骨短軸像および M モード像）である。

別冊 D 図 22 - A, B, C
------------------------

問43 最も疑われる疾患はどれか。

1. 肥大型心筋症
2. 拡張型心筋症
3. 拘束型心筋症
4. 不整脈源性右室心筋症
5. 分類不能型心筋症

問44 治療法として適当でないのはどれか。

1. 強心薬の投与
2. 利尿薬の投与
3. 血管拡張薬の投与
4. タウリンの投与
5. カルシウム拮抗薬の投与



課題23 次の文を読み、問 45、問 46 に答えよ。

犬、雑種、去勢雄、10 歳齢。発作と虚弱を主訴に来院。血液検査で重度の低血糖が認められたが、その他に大きな異常は認められなかった。〔図 23 - A〕は開腹手術時の肉眼像、〔図 23 - B, C〕は摘出した腫瘍（図 23 - A の矢印）の病理像（HE 染色）である。

別冊 D

図 23 - A, B, C

問45 本疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a ランゲルハンス島 $\alpha$ 細胞の腫瘍である。
- b リンパ節や肝臓へ転移しやすい。
- c 典型的な臨床徴候をウィップルの3徴候という。
- d 検査時の血糖値が正常であれば診断から除外できる。
- e 血中インスリン値が正常値範囲の上限を超えていることが診断基準の1つである。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

問46 術後管理中に注意すべき合併症として適当でないのはどれか。

- 1. 膵炎
- 2. 高血糖
- 3. 低血糖の持続
- 4. 膵外分泌不全
- 5. 運動失調、発作などの神経症状

課題24 次の文を読み、問 47、問 48 に答えよ。

〔図 24 - A 〕はある蜂群の巢門の前の写真であり、その蜂群の巢脾を観察すると〔図 24 - B 〕のような幼虫が観察された。

別冊 D  
図 24 - A, B

問47 最も疑われる感染症はどれか。

1. ヨーロッパ腐蛆病
2. チョーク病
3. ノゼマ病
4. バロア病
5. サックブルード病

問48 本感染症に関する記述として正しいのはどれか。

- a 届出伝染病に指定されている。
- b 原因は真菌である。
- c 巣箱内に膠臭がある。
- d 成虫には翅のねじれがみられる。
- e マクロライド系抗菌剤で治療する。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

課題25 次の文を読み、問 49、問 50 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、4歳齢。突然疝痛症状を示し元気消失。タール様血便と右側下腹部の膨満を認め、膨満部の周囲での拍水音を聴取した。〔図 25 - A〕は患部の超音波検査像で、消化管内腔の拡張と内容物の停滞が観察された。〔図 25 - B〕は剖検時の患部消化管の内腔である。

別冊 D  
図 25 - A, B

問49 最も疑われる疾患はどれか。

1. 第四胃捻転
2. 第四胃潰瘍
3. 腸重積
4. 出血性腸症候群
5. 盲腸拡張症

問50 この疾患に関する記述として適当なのはどれか。

- a 肥育牛において集団発生することが多い。
- b *Clostridium perfringens* type A の関与が示唆されている。
- c 血液検査で白血球数増加、高血糖、低カルシウム血症などが認められることが多い。
- d 第四胃における限局性の粘膜出血と血液凝固物の貯留を認める。
- e 適切な輸液療法で大部分が治癒する。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

**課題26 次の文を読み、問 51、問 52 に答えよ。**

犬、ミニチュア・ダックスフンド、雌、10歳齢。3日前からの嘔吐および食欲不振を主訴に来院。腹部触診にて著しい疼痛が認められた。〔図 26 - A〕は血液検査結果、〔図 26 - B〕は腹部単純X線腹背像、〔図 26 - C〕は右上腹部の超音波検査像である。

別冊 D  
図 26 - A, B, C

**問51 最も疑われる疾患はどれか。**

1. 急性肝炎
2. 急性腎不全
3. 急性膵炎
4. 急性胃炎
5. 胃捻転

**問52 本疾患の診断に最も有用なのはどれか。**

- a 食前・食後の血清総胆汁酸
- b 尿蛋白／クレアチニン比
- c 膵特異的リパーゼ
- d 膵生検
- e 上部消化器内視鏡検査

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

課題27 次の文を読み、問 53、問 54 に答えよ。

犬、ミニチュア・ダックスフンド、雄、7歳齢、体重5.1kg。昨日から立てなくなったとの主訴で来院。神経学的検査において、両後肢に異常が認められたため、胸椎から仙椎に至る領域においてMRI検査を実施した。〔図27 - A〕は外貌、〔図27 - B, C〕はMRI T2強調像（B：矢状断像、C：病変部の横断像）である。

別冊 D

図 27 - A, B, C

問53 最も疑われる病変部位はどれか。

1. T12 - T13
2. T13 - L1
3. L1 - L2
4. L2 - L3
5. L3 - L4

問54 本症例に対して外科的処置を行う際の術式として最も適切なのはどれか。

1. 椎間板造窓術
2. 片側椎弓切除術
3. 背側椎弓切除術
4. 腹側減圧術
5. 椎体固定術

課題28 次の文を読み、問 55、問 56 に答えよ。

〔図 28 - A 〕に示す「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」(乳等省令)の手順に従って牛乳中の一般細菌数の検査を行った。〔図 28 - B 〕は得られた集落数を示している。

別冊 D 図 28 - A, B
---------------------

問55 「ア」で用いる培地、「イ」の温度および③の希釈倍率はどれか。

培地	温度	希釈倍率
1. 標準寒天	35℃	1000 倍
2. 標準寒天	44.5℃	100 倍
3. 普通寒天	35℃	100 倍
4. 普通寒天	44.5℃	1000 倍
5. BGLB	44.5℃	100 倍

問56 牛乳 1ml あたりの一般細菌数として適当なのはどれか。

1.  $\{(280 + 260) \times 10\} / 2 = 2.7 \times 10^3$
2.  $\{(280 + 260) \times 100\} / 2 = 2.7 \times 10^4$
3.  $\{(280 + 260) \times 100 + (30 + 40) \times 1000\} / 4 = 3.1 \times 10^4$
4.  $\{(30 + 40) \times 100\} / 2 = 3.5 \times 10^4$
5.  $\{(30 + 40) \times 1000\} / 2 = 3.5 \times 10^5$

課題29 次の文を読み、問 57、問 58 に答えよ。

犬、チワワ、避妊雌、8歳齢。運動不耐性および数回の失神を主訴に来院。〔図 29〕はII誘導心電図である。

別冊 D

図 29

問57 心電図診断として正しいのはどれか。

1. 心室期外収縮
2. 洞停止
3. 洞不全症候群
4. 心房粗動
5. 第3度房室ブロック

問58 この不整脈に有効な治療法はどれか。

- a 人工ペースメーカーの埋め込み
- b ジギタリス投与
- c アテノロール投与
- d ジルチアゼム投与
- e イソプロテレノール投与

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

課題30 次の文を読み、問 59、問 60 に答えよ。

犬、雑種、雌、9 か月齢。3 か月齢頃から尿失禁があるとの主訴で来院。〔図 30 - A, B〕はそれぞれ排泄性尿路造影 X 線像（A：側方像、B：腹背像）である。

別冊 D  
図 30 - A, B

問59 最も疑われる疾患はどれか。

1. 尿管破裂
2. 異所性尿管
3. 尿管結石
4. 子宮蓄膿症
5. 膀胱結石

問60 より詳細な診断や評価を行うための検査法として有用性が低いのはどれか。

1. 膣スメア検査
2. 腎機能検査
3. 下部泌尿器硬性鏡検査
4. 尿道内圧検査
5. 造影 CT 検査









